

会 議 概 要

会 議 の 名 称	第6回 湧別町庁舎等検討委員会
開 催 日 時	令和4年11月30日(水) 18時55分 開会 20時20分 閉会
開 催 場 所	上湧別コミュニティセンター 2階大会議室
出 席 者 名	委 員：岩佐委員長、高橋副委員長、長谷川委員、樋口委員、 竹部委員、野津委員、毛利委員、吉村委員、橋本委員、 楨委員 町：企画財政課 斉藤未来づくり担当課長、渡辺主幹 建設課 岩佐課長、宇佐美主幹 事務局：総務課 石塚課長、中川主幹、榎本主事
欠 席 者 名	なし
傍 聴 人 の 数	4名
会 議 の 内 容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 審議 (1) 第5回 庁舎等検討委員会開催結果の確認 (2) 庁舎等集約化の検討 (3) その他 4 閉会
会 議 資 料	別紙のとおり
会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記) <input type="checkbox"/> 無
備 考	

会 議 録

結果要旨

湧別町庁舎等検討委員会が開催されましたので、下記のとおり報告いたします。

(1) 開 会

(2) 委員長あいさつ

(3) 審 議

①第5回 庁舎等検討委員会開催結果の確認について（総務課・中川主幹）
前回委員会における協議内容及び配布資料について説明。

②庁舎等集約化の検討について

【意見・質疑等】

○コミュニティセンターと消防出張所を含めない庁舎の建築面積はいくらか。
→事務局) 建築面積は約 920 m²。

○上湧別庁舎の建築面積は、本日配布された資料だとどれぐらいか。
→事務局) 中湧別中町 473 番地と 474 番地の合計が 968.12 m²となり概ね同程度の大きさとなる。

○上湧別庁舎とコミュニティセンターの面積を携帯のアプリを使用して測定したところ、それぞれ概ね 900 m²となり、それに駐車場及び前庭の面積を合計すると概ね 12,000 m²となる。この中には施設間を繋ぐ通路や雑然と並べられた車庫があり、これらを工夫するとどのぐらいの面積で足りるか。例えば、現庁舎は3階建だが、コミュニティセンターの部分を4階や5階にすることでより建築面積を抑えたコンパクトな庁舎にできる可能性はある。

○老人憩の家付近にある町有地以外で駐車場の敷地を確保できるところはあるか。

→事務局) 近隣では文化センターTOMなどの敷地がある。

○庁舎の敷地として活用できる町有地は配布資料で示した老人憩の家付近にある約 5,200 m²の敷地だが、ここでは庁舎以外に来庁者用の駐車場を確保するに留まり、同一敷地内に公用車や職員駐車場を確保するのは非常に難しいものとする。

○屋内ゲートボール場付近の敷地はどのように使われているか。

→事務局) 屋外ゲートボール場のコートとして使われている。ここを駐車場の

候補地として示す場合はゲートボール協会や利用者の理解を得る必要がある。

○町民が納得するのであれば選択肢としては良いか。

→事務局) 利用者等との調整をせずに委員会の候補地として示すのは難しい。

○屋外のコートは使っているのか。

→事務局) コートは10面あり、以前教育委員会に所属していた際には屋内ゲートボール場の東側の1～2面を常時使用しており、大会の際はそこと北側のコートで4～6面を使用していたため、北側のコートはあまり使用していなかったと記憶している。

○コート数に余裕があることから、数だけで見ると大会時は北側のコートで足りると思われる。敷地面積が広く理想的な場所であるが利用者等の感情を留意しなければならない。

○今まで検討してきた中では中湧別地区が良いと考える。

○提示された案の中では中湧別小学校の案が良かったが、配布された中湧別地区の町有地の資料を見て、候補から外した文化センターTOMを取り壊し、跡地に庁舎を建ててはどうかと感じた。既に整備されている駐車場を活用でき、文化センターTOMに現在かかっている維持費の削減にも繋がる。また、ゲートボール場を駐車場として検討する必要がなくなり、これまで通り利用できる。

○各委員に意見を聞いてみたい。

○文化センターTOM(旧中湧別駅)周辺に作るのが良い。役場が業務を行うという点では、現在残っている案のどれでも十分である。その上で、まちづくりに意義を持たせられるかということが基準になってくると考える。その時に新築庁舎を湧別町のシンボリックな意味を持たせるためには、元々中湧別は、湧別と上湧別が栄えた際に鉄道の駅をどこに作るかで揉めて、両地区の間である中湧別に駅を建設した結果栄えたと学校で習った記憶がある。

新しい時代の駅、人と情報が集う場所である役場庁舎作りを通して活かしていくというストーリー。既に色々な施設のある旧中湧別駅周辺に役場の庁舎を建て、新しい湧別町の駅として空間を創り出すというストーリーが面白いと感じた。また、さざ波と文化センターTOM、チューリップ公園がかつての鉄路跡で一直線に並ぶというストーリーもでき、それが面白いと感じたから文化センターTOM周辺が良い。

このことについて2つ考えることがある。皆さんが今のストーリーを面白い、意義深いと思うかということ。そんなに面白い話しではない、お金の換算でき

ないが上湧別庁舎の改修と新築の差額である 10 億円の価値はないというのであれば、上湧別庁舎の改修で我慢するということもありだと思える。

また、文化センターTOM 周辺にまだ町有地があることから、そこに別の整備すべき施設があるというアイデアがあるならば、そういう物を作るために開けておき、庁舎は中湧別小学校のところにするというのもありだと思える。そういう条件付的な形で、その町有地を活かすアイデアがなく、庁舎を持つことが新しい湧別町にとってまちづくりのストーリーになっていくなれば、何とかここを工夫して庁舎を新築できないかと考えている。

○ストーリー性を持たせる意見に賛同している。中湧別小学校は土地が広く理想的だが、中湧別小学校の改修となると、将来の財政的な余裕が本当にあるのかという点が不透明であると思う。新築するならば、これからのまちづくりを考えコンパクトにまとめたまちづくりが必要になると思ひ、湧別町は屯田市街地から湧別市街地まで 8 km という直線上の町のため、中間である中湧別が良い。

高齢化社会が進み移動が大変になってくる方が増えるため利便性と時間の節約を考えると、やはり既存施設である金融機関や病院、文化センター等々の周辺に作っていくことが 100 年先を見据えた中では、1 番理想的なまちづくりになるのかなと思う。そうすることで、湧別町は継続、持続できる町として若者が住め、高齢者に優しい町になっていくと考えている。

合併した町なので不要な公共施設は統廃合していき、財政的な余裕を持っていかなければいけない。折角作るならば、あるところを改築や新築ではなく、これからどこにあるのが良いのかを考えていけば、自分としては文化センター TOM 周辺が理想である。

○文化センターTOM を利用している方がいる中で、取り壊してしまうのであれば、その後のことも考えなければならない。コロナ禍で子どもたちが学校の行事で運動公園にきて、食事の際に TOM と道の駅を使ったという話を聞いたことがあり、それなりに広い施設は必要ではないかと思う。庁舎建設のために取り壊して良い施設なのか判断しかねる。

○方向性がある程度まとまってきた気がしている。本日は中湧別地区・文化センターTOM 周辺における協議を行っており、確かに文化センターTOM 周辺は、活性化の中心とすることや町民の方々が集まりやすい場所とするには理想的だ。

ただ、今まで議論してきた中で、庁舎や付随施設、駐車場についてはやはり一体としてというものもあり、一番、中湧別小学校の跡地が最適ではないかという考えは変わっていない。

文化センターTOM 周辺の町有地については、活性化のための施設をこれから考えていくということで、もしくは、中湧別地区の公営住宅は東町等にはある

が、中心地にはない。そして、2人家族や単身である高齢者の方々が住めるような集合住宅もしくは公営住宅があれば、それこそ病院や金融機関が近く、そして買い物もしやすいところになるのではないかなと考えている。そういうことで、私は中湧別小学校の場所が最適であると考えている。

○前回の委員会を通して考えた結果、文化センターTOMの周辺が最適であるという考えに至った。漠然とはしているが、文化センターTOM周辺をまちづくりの中心地とすると良いと感じた。それこそストーリー性があるだけでなく、屋外ゲートボール場周辺の広い敷地も魅力的だ。

ゲートボール協会の方や利用者の方々をないがしろにする訳にはいかないが、ゲートボール場の利用者を見ていると、コロナ禍前から活動が徐々に少なくなってきた気がしており、他の委員の意見の通り北側のコートを中心に利用するようにしてもらい、南側を活用させてもらえるよう伺ってみてもいいのではないかなと感じた。

○先ほど発言のあった文化センターTOMの利用状況について、自分自身、最近何に使ったかた考えたところ、先週子どものお遊戯会で行っていた。それ以外では、ワクチンの集団接種で利用していた。

合併により文化センターTOMとさざ波という同じ用途の施設がある中で、今後重複する用途の建物を削減していくことを見込むと、建築年数がより経過していない文化センターTOMを取り壊すという考えはない。

敷地面積だけで判断すると、中湧別小学校の敷地は広いと良い。旧中湧別駅の近くに役場があることは良い考えだが、今後のことを考えてもどうなるかわからないため、果たしてそれが今後のためになるものなのか判断できない。

あくまで提示された面積だけで判断しても良いと感じるとともに無理やり今ある建物や施設を壊したり利用したりするのは、自分の中では違うと考えている。

→事務局)文化センターの建築年数はさざ波の方が新しい。また、文化センターに関する町の基本的な考え方は、さざ波は音響の設備が整備されているため、コンサートなどといった音楽系に関する行事を主に行う施設とし、一方、文化センターTOMは、音響の設備がさざ波ほど整備されていないので、町民大学などといった講演会や研修会を実施する施設とし、それぞれの施設に役割を充ててすみ分けして利用している。

○今まで検討した中では、やはり中湧別小学校の案が良いと考えている。

私自身、役場庁舎はあくまで事務所という考えがあり、まちづくりや想いというものはない。まちづくりという点を考えるならば、文化センターTOMを作り換えるというのは理解できる。

○これまで皆さんの意見を聞き、その中でも文化センターTOM 周辺にケアハウスのような建物が建っていけばよいという意見に賛同している。

庁舎については、中湧別小学校に新庁舎を建てた方が敷地の面積は問題ないのかなと考えている。

ちなみに中湧別小学校の庁舎を解体する際に何か補助金はあるのだろうか。
→事務局) 既存施設の取壊しに係る補助金については、後日回答することとする。

【休憩】

○年間の3分の1は雪のある状況で、取り付け道路は狭いより広い方が安全性は高い。配布資料を見る限り中湧別小学校の広さはとても魅力的である。

・岩佐委員長

他に本日協議した場所の他に協議したい所はあるか。

【意見なし】

・岩佐委員長

場所を決める際に庁舎のことだけでなく、まちづくりについても考えることは、今後のことを見据えなければならず難しいところがある。そのため、単純に庁舎として相応しい特定の場所を絞っていくか、または、場所は特定せずに中湧別地区にという内容にするかで協議を進めていきたいが、いかがか。

【異議なし】

・岩佐委員長

答申のまとめ方は、これまでの会議における各委員の意見を受け新築するというので進め、また、上湧別庁舎の改修を付帯意見とすることで進めていくのが良いと考える。

また、新築する場所については、色々な意見が出ており、それらの意見を尊重する形で中湧別地区にということを進めたい。ただ、場所は1つに定めた方が良いという意見があれば、協議を続けるがいかがか。

【特定する必要はないという意見あり】

・岩佐委員長

これまでの意見については答申に記載し、多くの方にその内容を認識してもらおうことでよろしいか。

【良いという意見あり】

・岩佐委員長

答申のまとめ方は珍しい形にはなるが、皆さんの意見を伝えることができれば、庁舎の在り方について議論することはこれだけ大変であるということ、また、各委員の色々な思いや想像をまとめることの大変さは伝えることはできる。

ストーリー性を持たせることについては、ここだけでは協議ができないのかなと意見をいただいているので、無駄にすることなく進めていきたい。

③その他

次回会議では答申案の協議を行うこととした。なお、次回の会議日程については、後日調整することとした。

(4) 閉 会